大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】 「目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく生きる生徒の育成」



令和2年2月21日 第28号 校長 柴田美由紀



2年生修学旅行スローガン 『道標 ~歴史を学び、友を知り、 これからの目標をかかげよう~』

2年生は2月5日(水)~7日(金)の日程で、京都・奈良・大阪へ の修学旅行に行ってきました。「旅行」は「三連の旅」とも言われ、 事前の旅 本番の旅 事後の旅からなり、極めて目的的な性格が あります。事前の旅とは、憧れと期待を持つこと、本番の旅とは、

旅に専念すること、事後の旅とは、追憶と生活の活性化のことです。この旅行を通して、学習を深め、よりよい人 間関係を築くこともできました。

1日目は、新幹線で新大阪に到着後、まず奈良の薬師寺に行きました。薬師寺は680年に天武天皇により発願さ れた「法相宗」の大本山で、710年の平城遷都に伴い現在地に移された歴史ある寺で す。薬師寺の国宝である「薬師三尊像」や「東塔」などを見学する前に、僧侶の方から薬師 寺にまつわる様々なお話を楽しく聴かせていただきました。「全てのことは周りの方と のご縁により存在するので、日々感謝の心を持って、心身を健康に生活してほしい」と語 られました、次に向かったのは天平文化の象徴といってもよい東大寺です。奈良時代の743年に聖武天皇の発願に より創建されました。「盧舎那仏」とういう大仏が装置されている世界最大の木浩建築である大仏殿の迫力に圧倒され、 当時の技術力の高さに大いと感銘を受けました。

2日目は、京都市内の班別研修でした。班ごとに渡された携帯電話をもって、バスや電 車を乗り継いで見学地へ向かうといった研修でした。京都の歴史や文化に触れながらの学 習は、子どもたちに今と古の時をつなぎ、同時に、班の仲間との絆をつなぐ貴重な体験とな りました。また、夜は「舞妓さんふれあい体験」をしました。舞妓さんの舞に陶酔した子ども たちは、舞妓さんの舞の稽古が一日何時間にも及ぶことや携帯・スマホは持てないことな ど自分たちの生活とはかけ離れた話に聞き入り、楽しい交流のひとときを過ごすことができました。

3日目は お世話となったホテルの方々に見送られながら広島平和公園に向かいました。広島平和公園では、原爆 の子の像の前で平和集会をしました。「平和の誓い」を読み上げて千羽鶴を捧げ、全員で黙とうしました。その後、戦争 で亡くなった多くの人々への鎮魂と平和を守っていく決意を込めて「大地費酒」を合唱しました。暖かむ日差しの中 子どもたちの声が響き渡り、一般の観光客の方々もしばし足を止めて聞き入っておられ

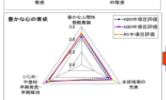
待ち望んでいた学校行事も、もはや過去の出来事になりました。お十産と共に楽し い思い出をたくさん持ち帰ってきてくれたようで嬉しく思います。しかし、「修学」と

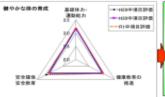
ました。生徒たちの思いは何十万もの犠牲者の方たちにきっと届いたはずです。

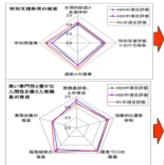
ある以上、学習の機会として今一度捉え直してみてほしいのです。 そこで何に出会い、何を学んだのか、初めて 触れるものに対する記憶は鮮やかです。同時に「非日常」の中で得られた知識や体験は、貴重なものとして皆さ **んの中にいつまでも残っていくことになるでしょう。**この修学旅行での学びを大きな糧として、「**事後の旅」の** 任、行動に大いに期待しています。

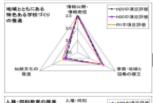
今和元年度 大原中学校 学校関係者評価を受けて(評価結果と改善の具体的方策)

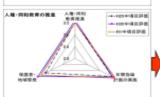
学校の自己評価 権かな学力の育成 · * +41++ # B P B OTHER DISE 家庭と連携 MERKO) 1977年末











評価結果(学校運営教信議会)

- ○確かな学力をつけていくように先生方が日 常的に細やかな学習指導がなされている。 ○家庭学習時間がやや少ないのが気になる が先生方の研究と実践が成果に結びつい
- ○生徒へのノート指導やワークシートの工夫 や情報モラル等の更なる充定を望む。
- 〇生徒がお互いのことを思いやる豊かな心 を育てる働きかけがなされている。
- ○生徒が落ち着いており、お互いの心の結び つきができている。
- 〇いじめアンケート、教育相談等にこれまで 通り丁室に取り組み、いじめの早期発見・ 早期期対応でお願いしたい。
- ○今後も専門家を講師に招いた計画的な規 総教育の取組をお願いしたい。
- ○体育系の部活動に所聞していない生徒の 運動量を保健体育の授業でカバーしてもら Litelia.
- ○給食時間での食育がバランスの良い食生 活への意識を向上させている。
- ○陸上の取組等、先生方が生徒を見ばしな がら指導している成果が出ている。
- 今後も自転車の乗り方や様々な危険回避 の方葉などへの指導をお願いしたい。

改善の具体的方策(学校)

- ○思考ツールを用いて自己内対話を促し、自分の考 えを深め、新たな学びにつなけていく思考力、利 斯力、表現力の学力向上に向けた取締を全職員 で実践していく。
- ○こつこつ勉強とErglishのプロジェクトの見直しを 図り、より良いプロジェクトの推進をしていく。
- ○家庭学園の定義と予認・復習の強化に向けて、 課題等の質的向上を図る
- ○力強く未来を提く力をキャリア教育で育む。
- 道徳的価値を実現する内面的姿質を育てる 道徳の時間の充実と体験を生かした指導の 工夫に努める。
- ○日頃より、積極的な生徒指導に努め、いじめ の未然防止・早期対応に努める。
- 規範意識教育の継続と充実を図っていく。、SNS の問題解決に向けて保護者と連携し、研修会の 充字を図る.
- ○生徒会活動を活性化させ、自間清掃や校内掲示 物等の環境美化を進める。
- ○体力向上プランを全職員で共通確認し、取締を 充実させる。授業でのサーキット・トレーニングや コーディネーション・トレーニングは継続し、冬場は 各部活動で足並みをそろえ、体幹トレーニングや ストレッチングを今後も強化していく。 ○安全管理こついては、水害発生師のマニュアルの
- 見直しを図り、危険回避のための意識を高め、技 能を身につけることができるよう取組を進める。
- ○自転車マナーやルールについて常時指導を行う
- 〇 小学校、高等学校、特別支援学校との円滑 な連携を今後も図ってはしい。
- ○通額指導教室との連携は評価が高い、特 別支援学級においても数職員間での共有を これまで以上に関っていただぎたい。
- ○毎年着実に特別支援学級の教材教具が十 分にそろっているかの確認をしてもらいたい。
- ○先生方が日頃から熱心に取り組んでいる姿 勢が落ち着いた良い学校の雰囲気を作って No.
- 今後も研修を重ね、先生方の専門性を高め てもらいたい。
- ○日頃より、「大原自門清掃」の指導が、生徒 の美化意識向上に繋がっている。
- ○学校だよりや学年だより等、学校からの情 報公開・発信がよくなされている。
- ○大原中校区は、学校に協力し支援していく 風土があるので、特色のある学校づくりを推 進していける。今後も地域と共にある学校を 目指していただぎたい。
- ○中学生の種類的な夏祭リ等の参加をお願 いしたいが、部活動や受験勉強で忙く途 感している現状がある。
- ○土曜授業やリバティフェスタでの地域・保護 者への発信ができている。今後も地域の大 人への意識をさらに高めていただきたい。 〇 今後も細胞的・継続的な人権・同和教育の 推進に取り組んでいただきたい。
- ○学校教育全でにおいて人権・同和教育を 基盤とした推進がなされている。
- ○教育加速のための署名活動等が実を結ん

- ○特別支援教育コーディネーターを窓口に保護者 との連携を図る。
- ○特別支援学級の指導内容等について、全数職員 の共通理解を図る。
- ○校外の関係機関との連携の強化と小学校や高校 特別支援学校との接続の充実を図る。
- 〇 今後も学校運営への積極的な参画を強化してい く。中壁戦師がリーダーシップを取り、若手の優 動力を生かした学校運営を推進する。
- ○校内研修の更なる充実や生徒の授業評価結果 を生かした研鑽に努め、数算の着実な指導力向 上を図る。
- 〇 今後も「大原自間清掃」の登底と充実を図り、生 往会専門委員会活動を中心に環境美化に取り
- ○学校だよりや学年だより、学校ホームページの 定期的な発行・更新と丁葉な家庭が開発を継続 し、保護者、地域に情報を発信する。
- 〇校区青少年育成部会や人権のまちづくりの取締 は、内容の見直しを図るとともに学校 家庭 地 域が連携し推進していく。
- 地域活動や「ラブアース・クリーンアップ大節」の 取組など、ボランティア活動への積極的な呼びか
- ○土曜投業でリバティフェスタや公開投業を実施し 単純、保護者との協力や保護者会、無対理談会 学年通信等で丁寧な発信を行う。
- 今後も人権問題学習の充実と豊かな人権感 覚に根がした指導を丁寧に維織していく。
- ○今後も数師自身の人権感覚を高めるために、校 内研修を深めるとともに、各種研修会や学習会に 積極的に参加する。



